

一人ひとりの学力を高め、
人を大切にする子どもを育てる

学校が心身共に安心安全な場で、
一人ひとりの個性を大切にする取組を推進する。

1. 学力を高める

○子どもに届く授業の保障

～子どもが主体的で深い学びとなる授業づくり～
「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感する

- ◇ 学ぶことに対する興味や関心が高まる手立て（導入の工夫）
- ◇ 主体的・対話的で深い学びとなるような発問の精選
- ◇ 多面的・多角的に物事をとらえることのできる授業展開
→考え議論する場の設定
- ◇ 構造的で思考の支えになる板書の工夫
- ◇ めあての明確化と振り返り（振り返りを次時へつなげる）

～カリマネ、教科横断的な学習をさらに意識して授業に組み込んでいく～

○家庭学習の充実と習慣化

- ◇ 家庭学習と授業との連動
- ◇ 基礎学力の定着を 反復練習（漢字・計算・音読等）→ぐんぐんタイムの充実
- ◇ 自主学習（自分で課題を決めて主体的に）

○読書の習慣化と充実（手近なところに本がある）

- ・読書の定着（必ず全員が静かに読書をする時間の設定）
- ・学校図書館の活用（学習の場・情報収集の場としての活用）
- ・様々なジャンルに触れていく工夫 読み聞かせ すきまの読書

2. 人を大切にする子どもを育てる

○「自分を大切にする」心を育てる（自尊感情を育てる）

自分の考え・思いをもち、自己決定していく力を育む。

自分の力・可能性を信じ、チャレンジする。

結果より過程を大事に、努力した自分を認め、自信を持つ。

○「他者を大切にする」心を育てる

相手の気持ちを考えた言葉かけ・行動

いじめをさせない・許さない・見逃さない（一人一人違うことを前提）

○自分にできることを考え、行動する

班の仲間のために・学級のために・学校みんなのために・

地域のために・家族のために

⇒やったことをみんなが評価し、次への意欲につなげる

○高まりあえる学級集団・学年集団づくり（個性を大切に）